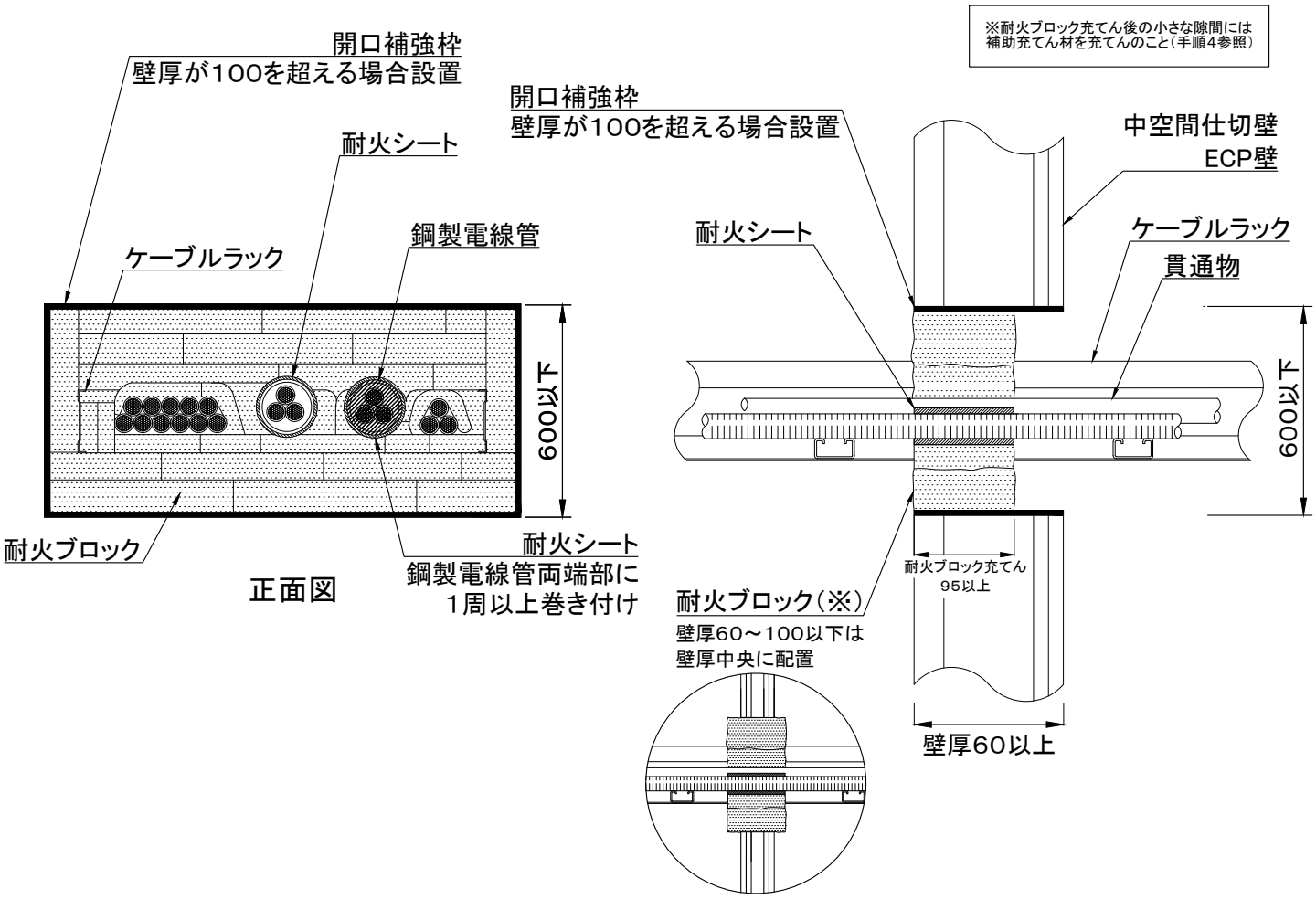
# 【電気設備】角穴工法　中空間仕切壁、ECP壁

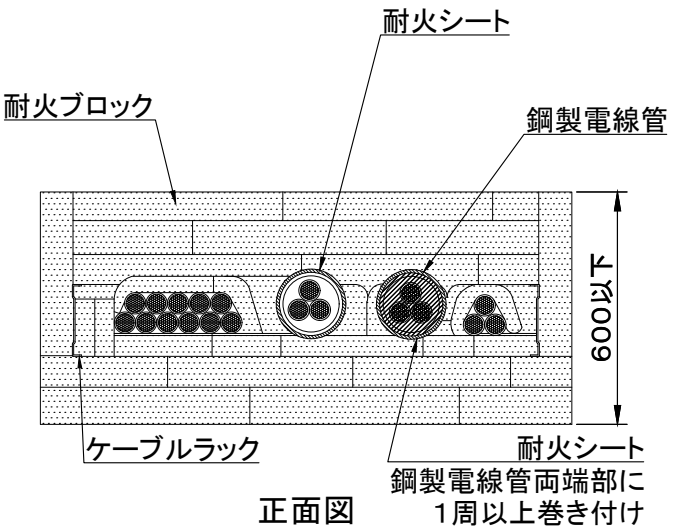
単位：mm

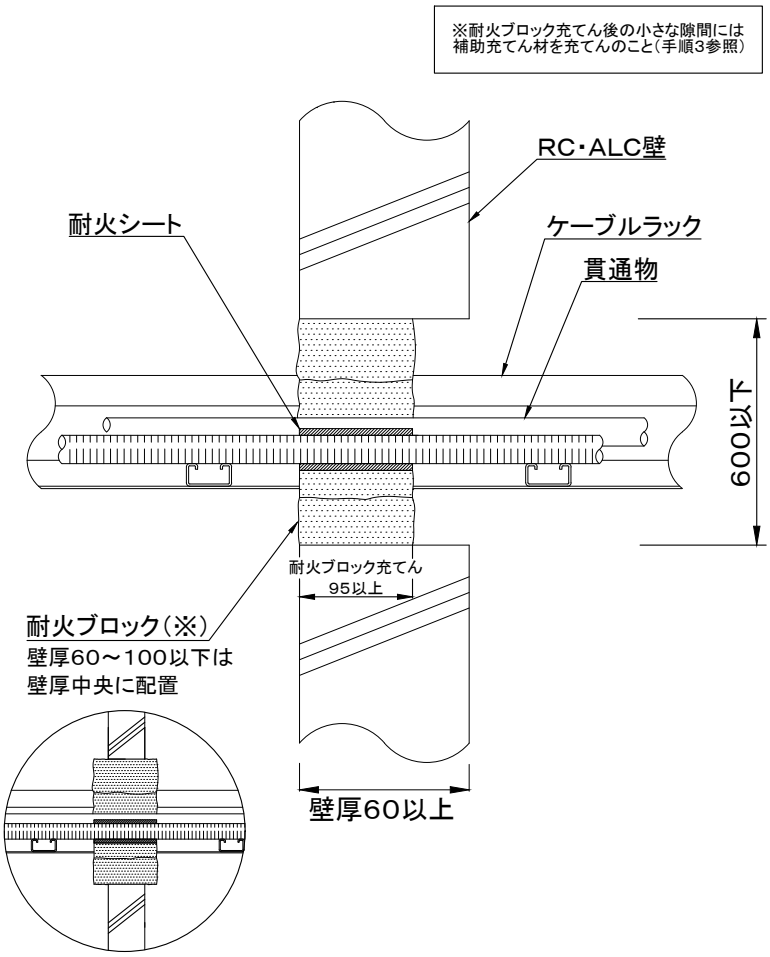



| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-1182-2（1182-1、1182） |
| 貫通する壁の構造等 | | 中空間仕切壁、ECP壁　厚さ60以上<br>※中空間仕切壁は壁厚100を超える場合、開口補強枠要設置 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴）　高さ600以下 |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| 貫通物 | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　壁厚が100を超える場合、開口補強枠を設置する。<br>2　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>3　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>4　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　RC・ALC壁

単位：mm

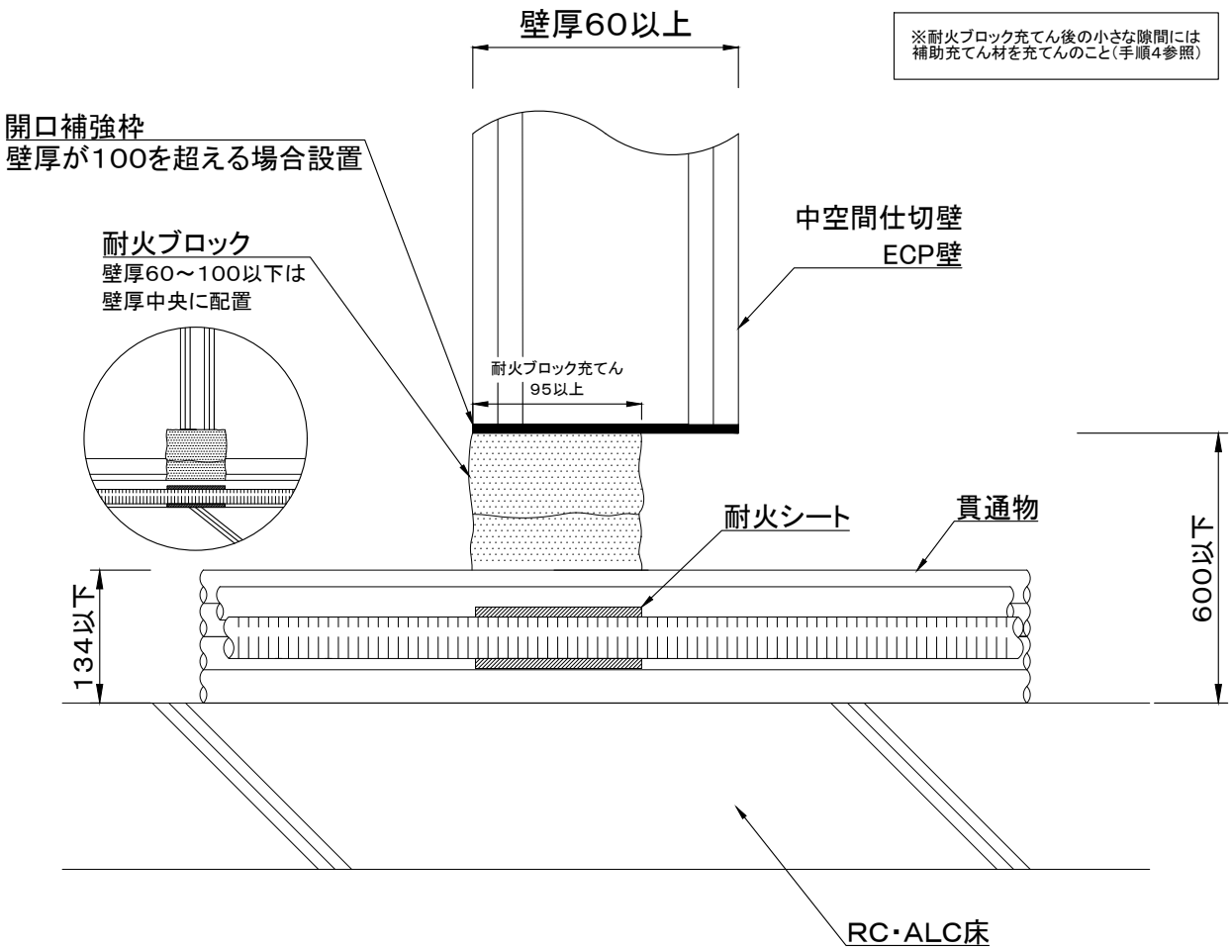



| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-1182-2（1182-1、1182） |
| 貫通する壁の構造等 | | RC・ALC壁　厚さ60以上 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴）　高さ600以下 |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| 貫通物 | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>2　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>3　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　OAフロア　中空間仕切壁、ECP壁

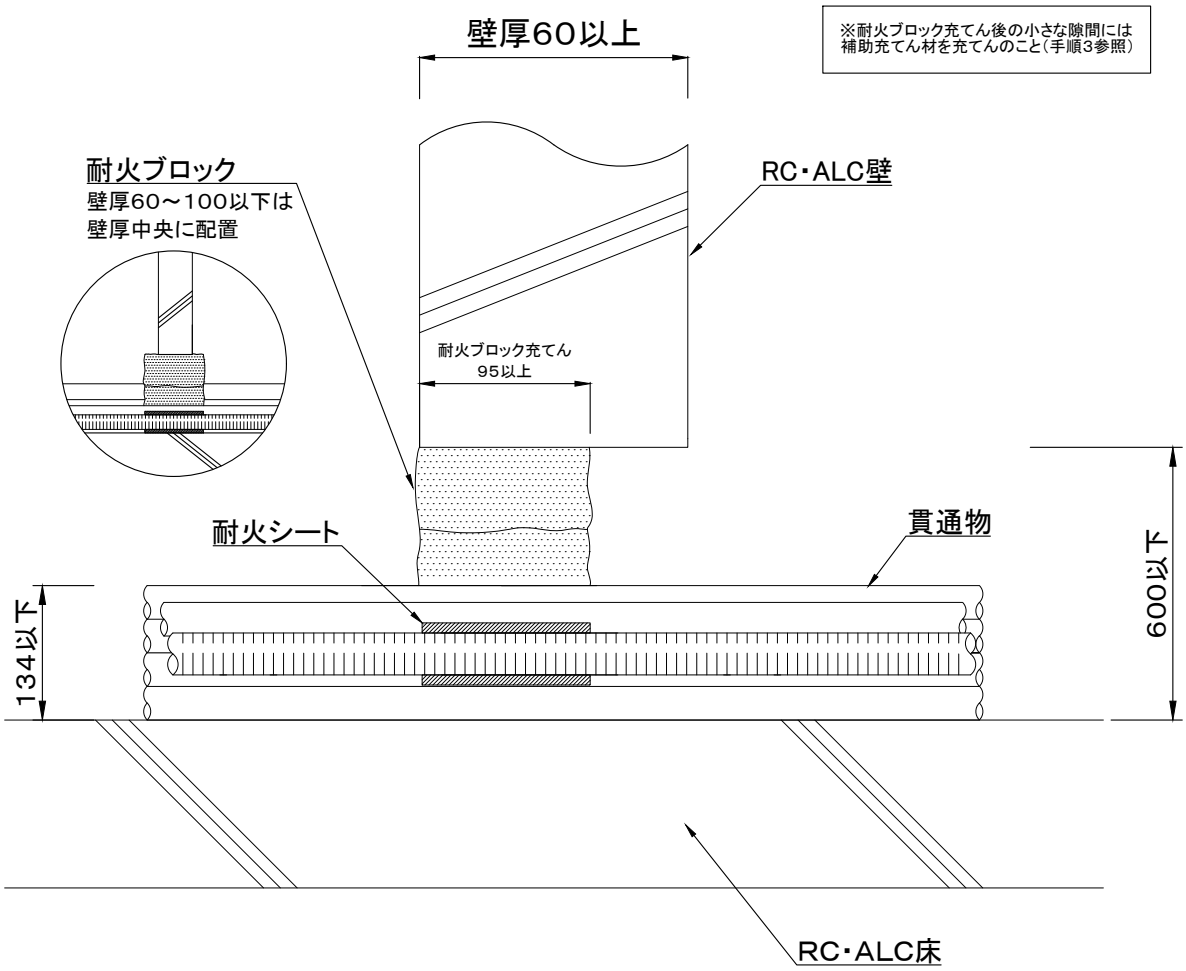
単位：mm




| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-1182-2（1182-1、1182） |
| 貫通する壁の構造等 | | 中空間仕切壁、ECP壁　厚さ60以上<br>※中空間仕切壁は壁厚100を超える場合、開口補強枠要設置 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴）　高さ600以下 |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下　（通線物高さ134以下） |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| 貫通物 | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　壁厚が100を超える場合、開口補強枠を設置する。<br>2　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>3　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>4　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　OAフロア　RC・ALC壁

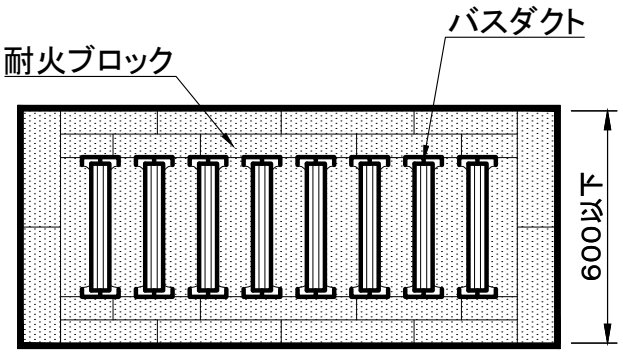
単位：mm



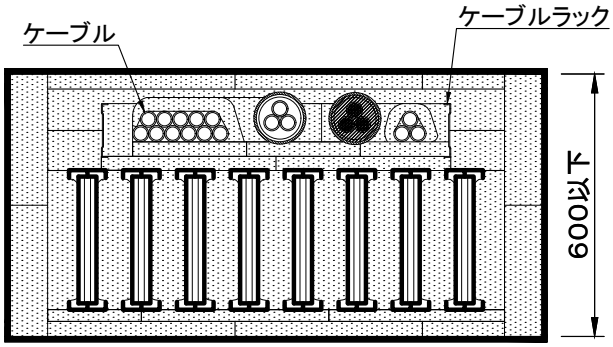

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-1182-2（1182-1、1182） |
| 貫通する壁の構造等 | | RC・ALC壁　厚さ60以上 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴）　高さ600以下 |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下　（通線物高さ134以下） |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| 貫通物 | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>2　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>3　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　中空間仕切壁、ECP壁　バスダクト貫通

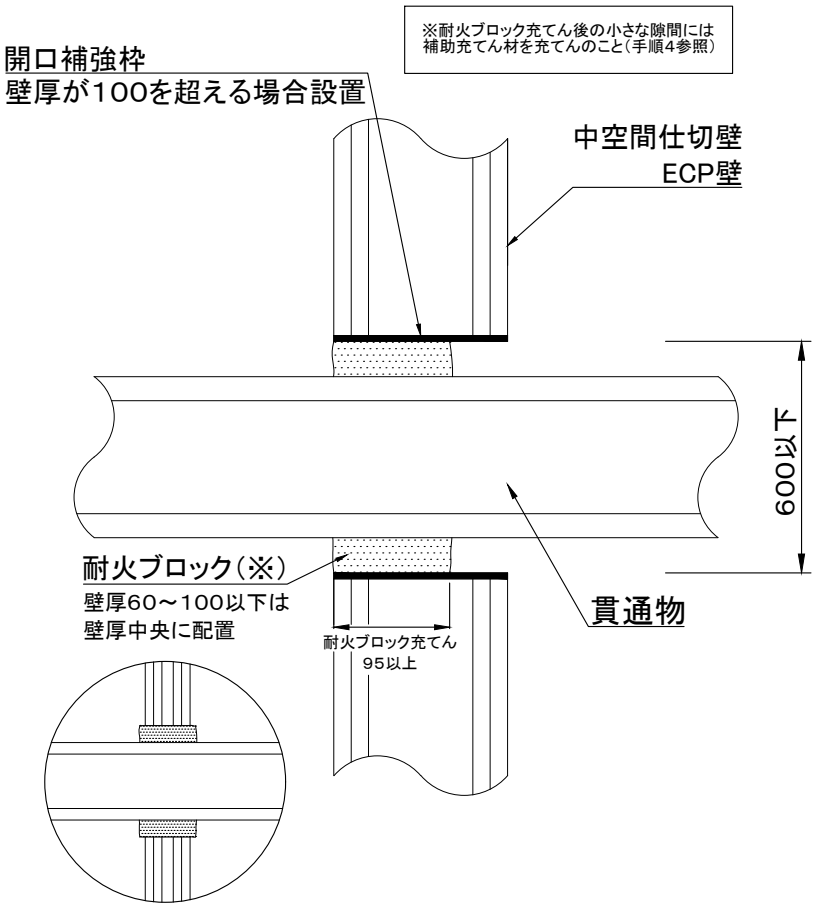
単位：mm




バスダクト貫通
正面図



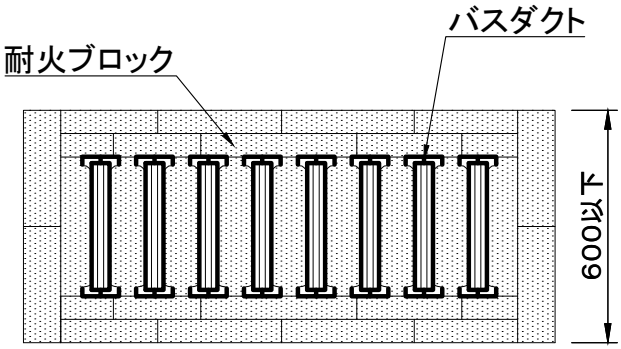

バスダクトとケーブル等の混在貫通
正面図



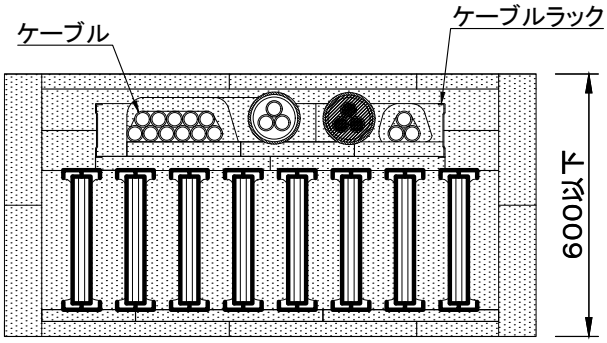

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-1182-2 |
| 貫通する壁の構造等 | | 中空間仕切壁、ECP壁　厚さ60以上<br>※中空間仕切壁は壁厚100を超える場合、開口補強枠要設置 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴）　高さ600以下 |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| 貫通物 | バスダクト(1枚あたりの導体断面積) | 3,000㎟以下 |
| | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　壁厚が100を超える場合、開口補強枠を設置する。<br>2　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>3　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>4　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　RC・ALC壁　バスダクト貫通

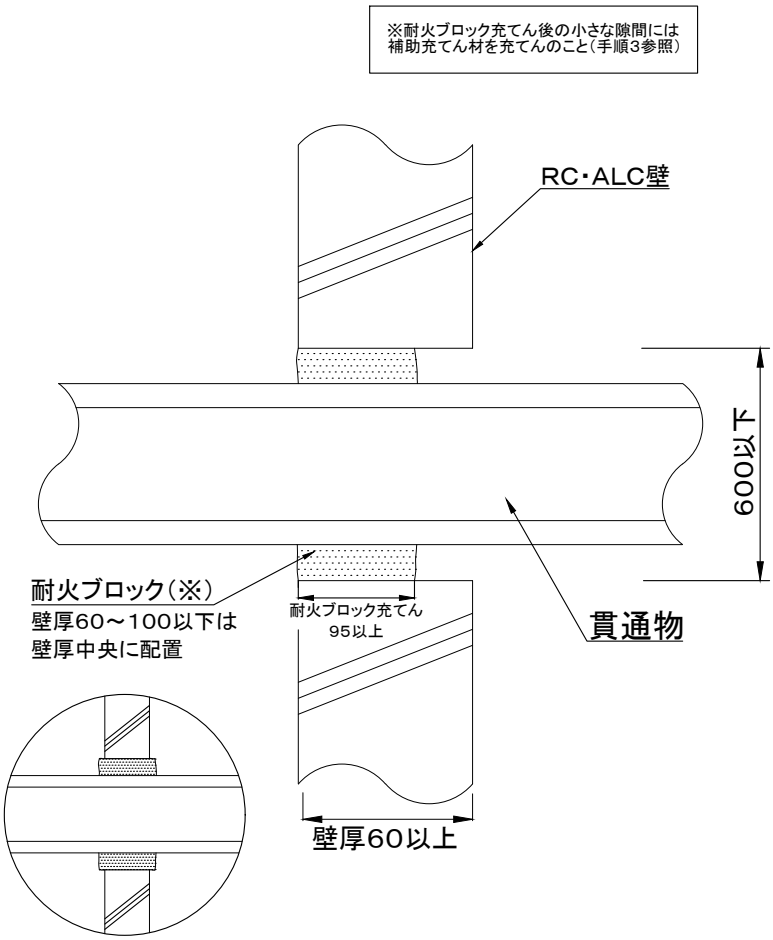
単位：mm




バスダクト貫通
正面図



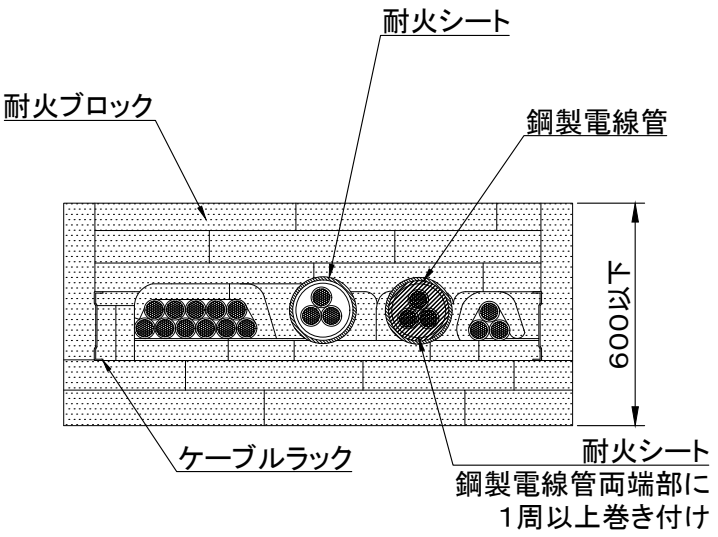

バスダクトとケーブル等の混在貫通
正面図



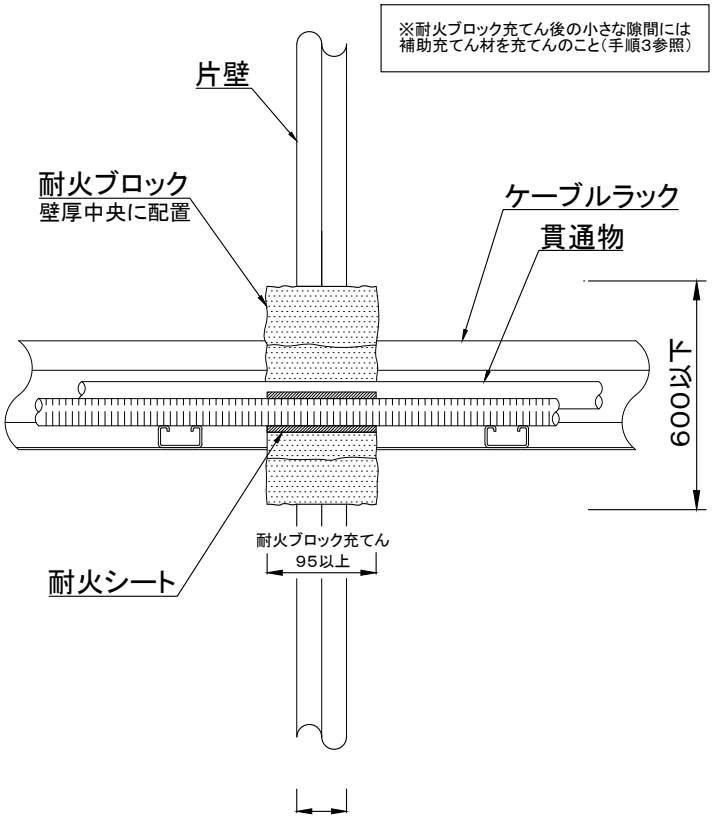

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-1182-2 |
| 貫通する壁の構造等 | | RC・ALC壁　厚さ60以上 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴）　高さ600以下 |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| 貫通物 | バスダクト(1枚あたりの導体断面積) | 3,000㎟以下 |
| | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>2　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>3　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　片壁

単位：mm



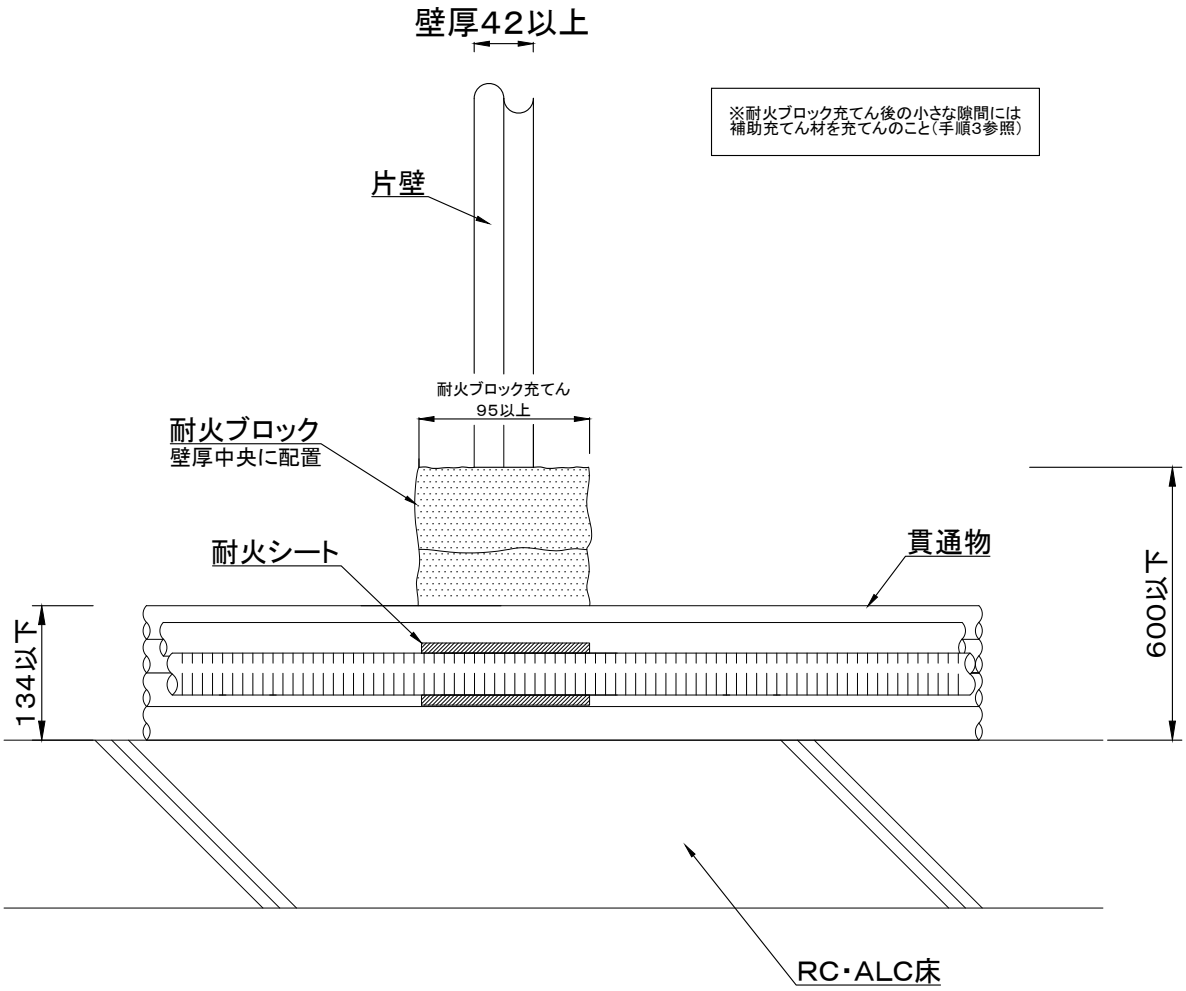

正面図




壁厚42以上

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-1212-3（1212-2、1212-1、1212） |
| 貫通する壁の構造等 | | 片壁　厚さ42以上 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴）　高さ600以下 |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| 貫通物 | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>2　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>3　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

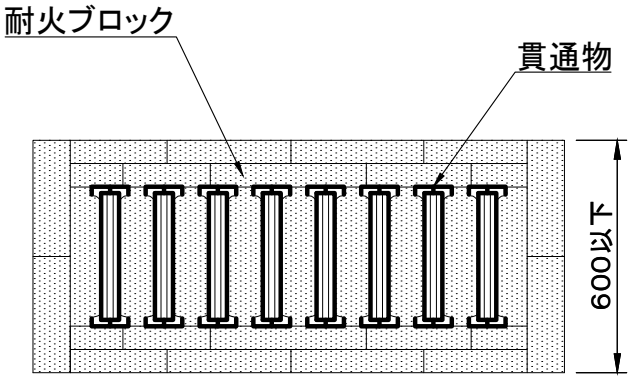
単位：mm



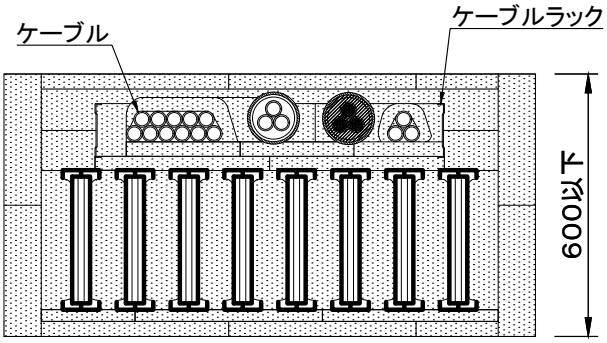

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-1212-3（1212-2、1212-1、1212） |
| 貫通する壁の構造等 | | 片壁 厚さ42以上 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴） 高さ600以下 |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 （通線物高さ134以下） |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| 貫通物 | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下 ：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1 貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>2 貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>3 小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　片壁　バスダクト貫通

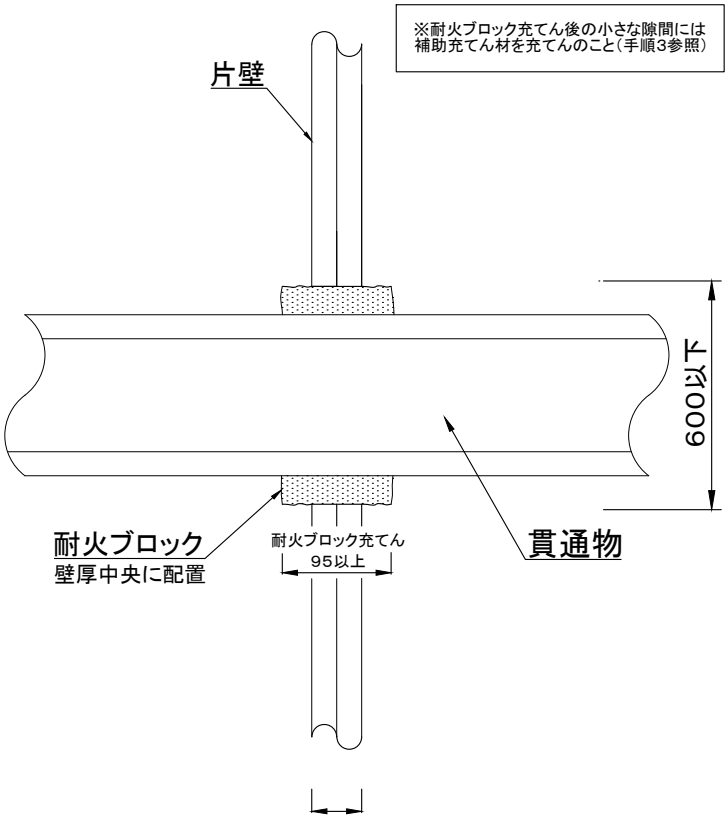
単位：mm




バスダクト貫通
正面図



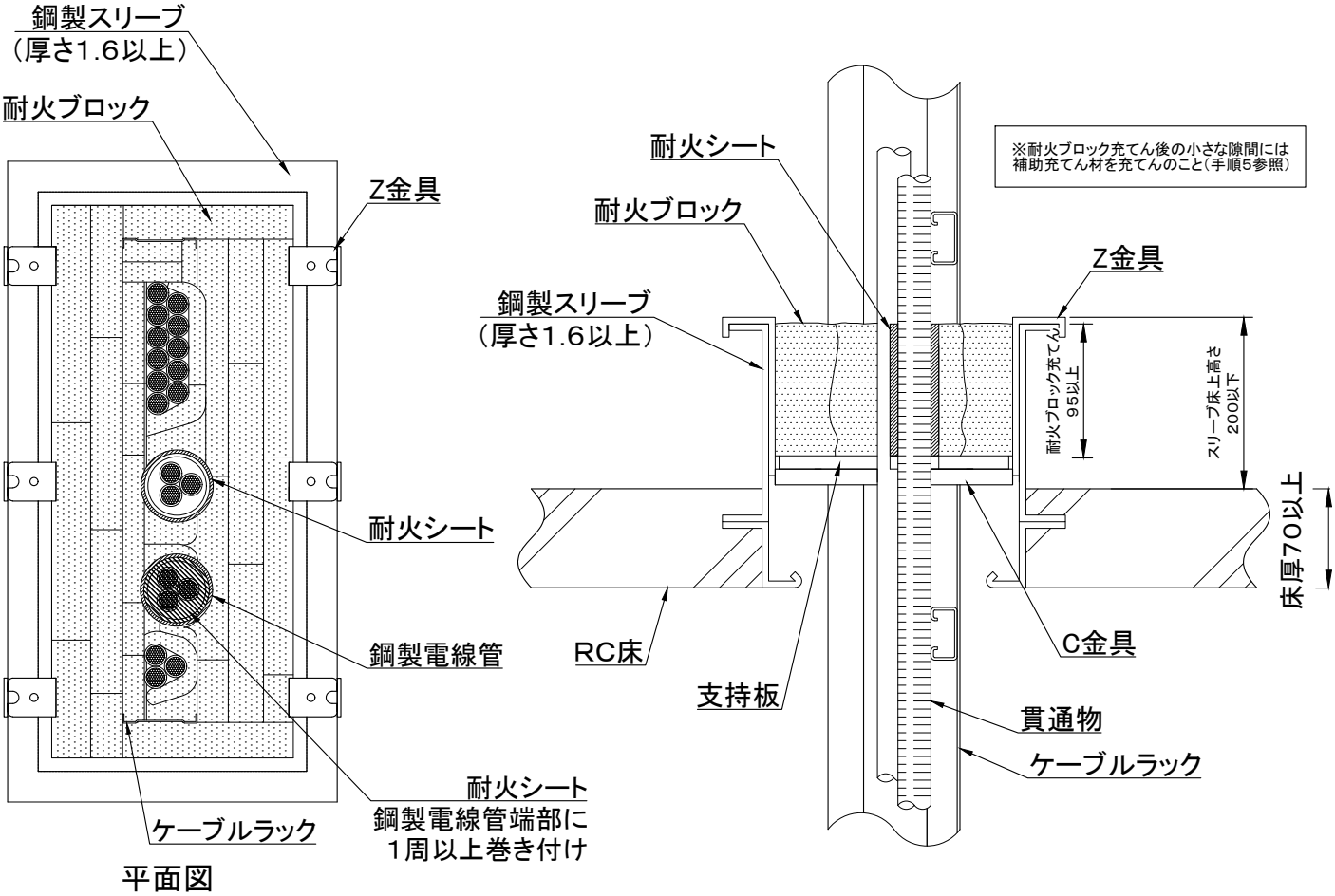

バスダクトとケーブル等の混在貫通
正面図




| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060WL-1212-3（1212-2、1212-1、1212） |
| 貫通する壁の構造等 | | 片壁　厚さ42以上 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴）　高さ600以下 |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| 貫通物 | バスダクト（1枚あたりの導体断面積） | 3,000㎟以下 |
| | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（両側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>2　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>3　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　RC床　鋼製スリーブ有り

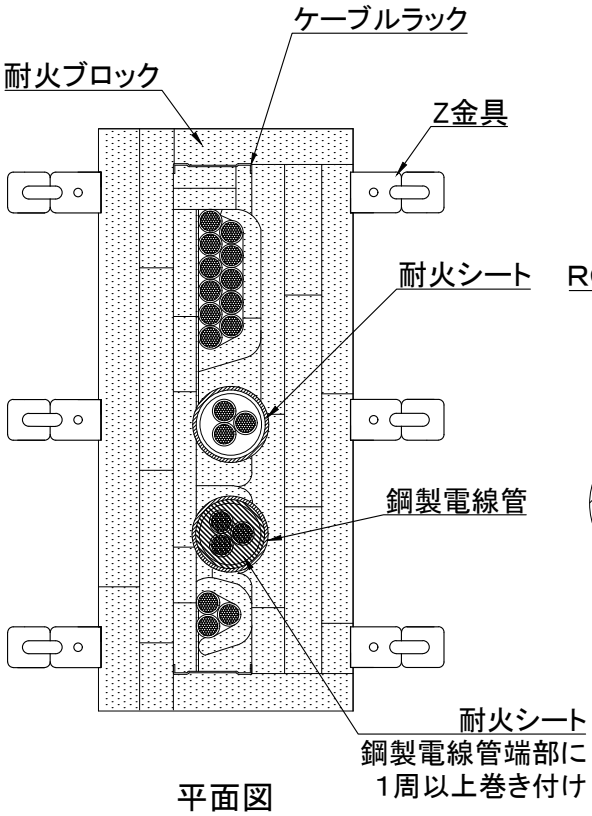
単位：mm

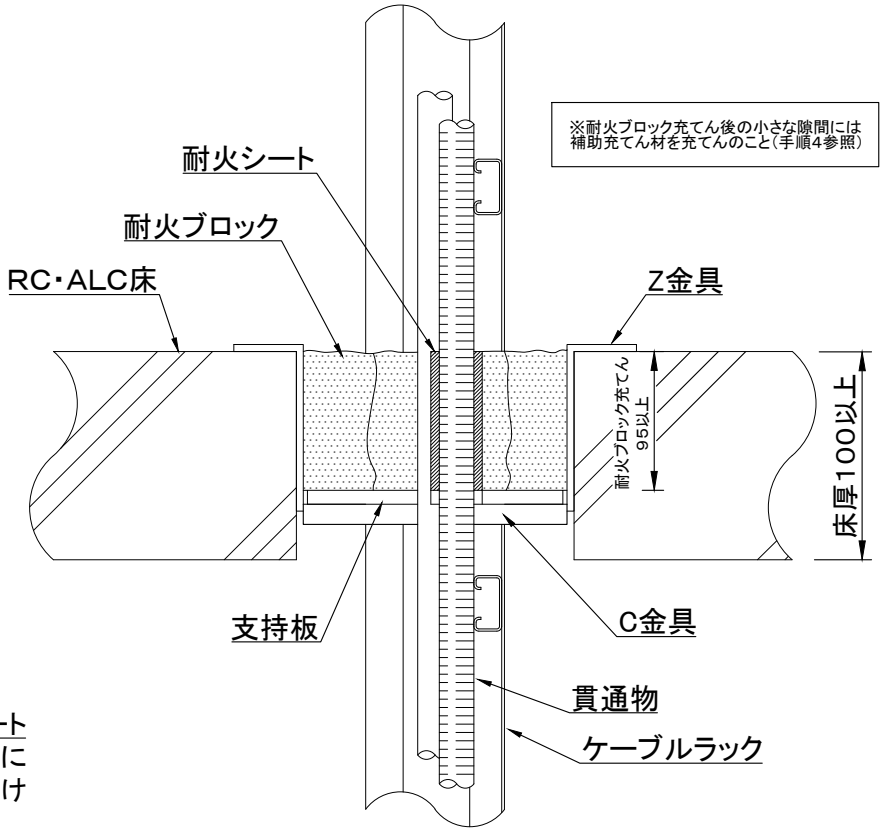



| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060FL-1200-2（1200-1、1200） |
| 貫通する床の構造等 | | RC床　厚さ70以上<br>※鋼製スリーブ（厚さ1.6以上、床上高さ200以下）要設置 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴） |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| | 支持板 | ロクマックスボード |
| 貫通物 | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（床上側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（床上側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　開口に鋼製スリーブを設置する。<br>2　鋼製スリーブに支持金具（Z金具、C金具）を設置し、貫通物の形状に合わせて加工した支持板を置く。（耐火ブロックを下面施工する場合は、鋼製スリーブ下面に支持金具を設置し、支持板を置く。）<br>3　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>4　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>5　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　RC・ALC床　鋼製スリーブ無し

単位：mm

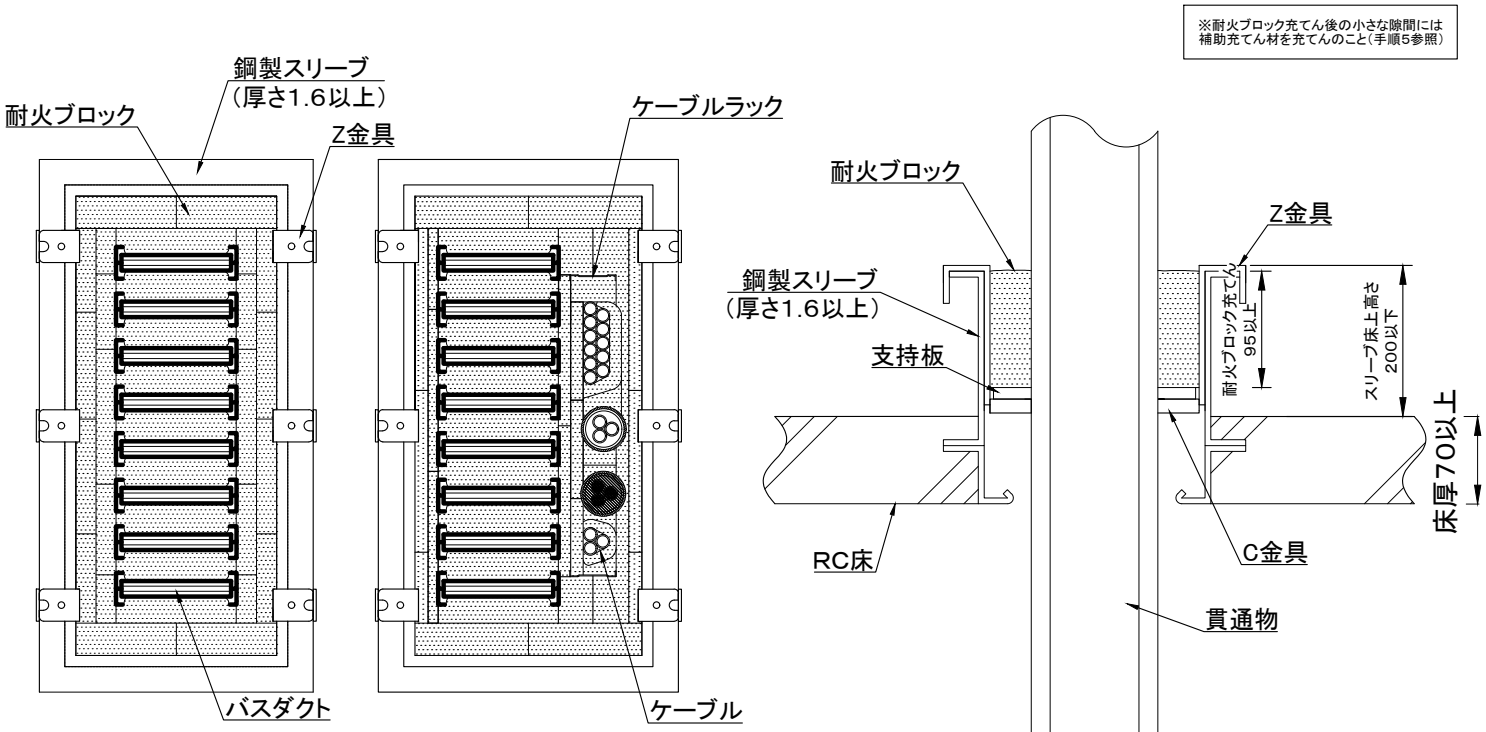



| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060FL-1200-2（1200-1、1200） |
| 貫通する床の構造等 | | RC・ALC床　厚さ100以上 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴） |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| | 支持板 | ロクマックスボード |
| 貫通物 | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（床上側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（床上側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　支持金具（Z金具、C金具）を設置し、貫通物の形状に合わせて加工した支持板を置く。<br>2　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>3　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>4　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　RC床　バスダクト貫通　鋼製スリーブ有り

単位：mm




バスダクト貫通
平面図

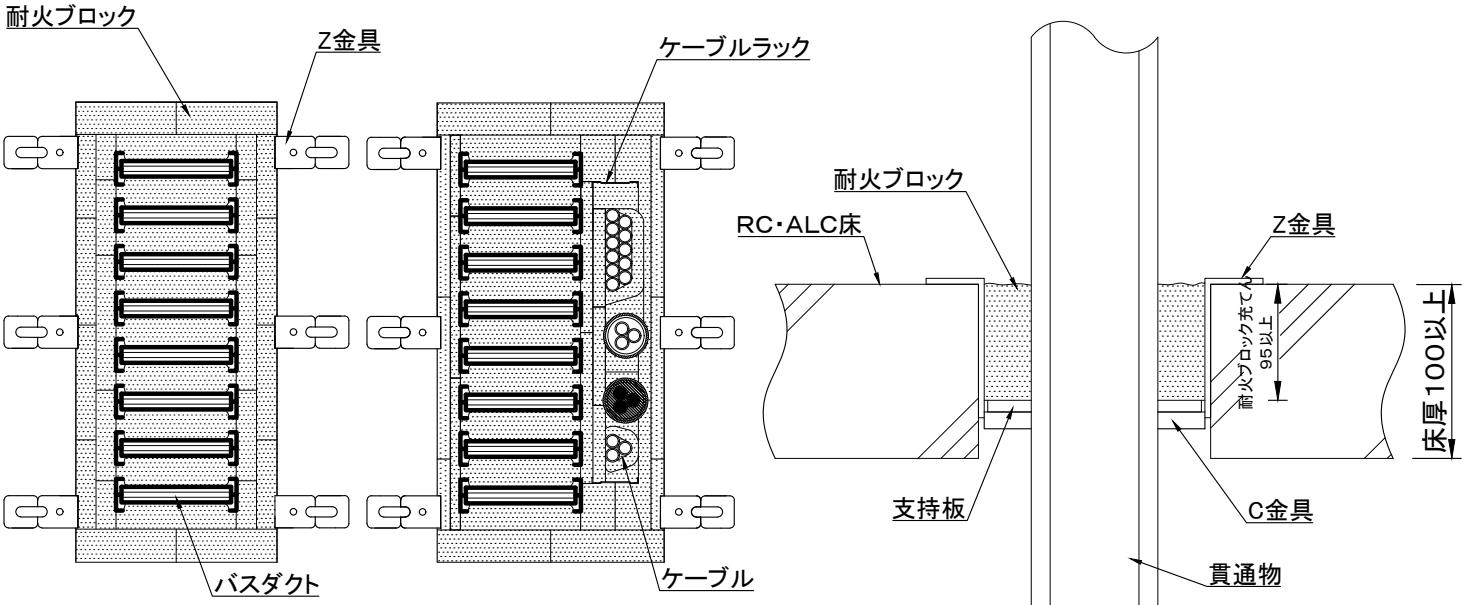
バスダクト+ケーブル等の混在貫通
平面図

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060FL-1200-2 |
| 貫通する床の構造等 | | RC床　厚さ70以上<br>※鋼製スリーブ（厚さ1.6以上、床上高さ200以下）要設置 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴） |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| | 支持板 | ロクマックスボード |
| 貫通物 | バスダクト（1枚あたりの導体断面積） | 3,000㎟以下 |
| | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（床上側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（床上側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　開口に鋼製スリーブを設置する。<br>2　鋼製スリーブに支持金具（Z金具、C金具）を設置し、貫通物の形状に合わせて加工した支持板を置く。（耐火ブロックを下面施工する場合は、鋼製スリーブ下面に支持金具を設置し、支持板を置く。）<br>3　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>4　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>5　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |

# 【電気設備】角穴工法　RC・ALC床　バスダクト貫通　鋼製スリーブ無し

単位：mm

※耐火ブロック充てん後の小さな隙間には
補助充てん材を充てんのこと（手順4参照）




バスダクト貫通
平面図

バスダクト+ケーブル等の混在貫通
平面図

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060FL-1200-2 |
| 貫通する床の構造等 | | RC・ALC床　厚さ100以上 |
| 開口部 | 形状 | 矩形（角穴） |
| | 面積 | 0.75㎡以下 |
| 占積率 | | 35.0%以下 |
| 防火部材 | 耐火ブロック | ロクマックスブロック |
| | 耐火シート | ロクマックスシート |
| | 支持板 | ロクマックスボード |
| 貫通物 | バスダクト（1枚あたりの導体断面積） | 3,000㎟以下 |
| | 電線・ケーブル（1本あたりの導体断面積） | 1,600㎟以下<br>200㎟を超える場合、貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>ケーブル等が隣接する場合、露出部分のみ耐火シートを貼り付け |
| | 鋼製電線管 | 呼び104以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（床上側施工） |
| | 合成樹脂製可とう電線管 | PF・CD54以下<br>PF・CD22以下：貫通部に耐火ブロックのみ<br>PF・CD54以下：貫通部に耐火ブロック＋耐火シート1周以上巻き付け |
| | 金属製可とう電線管（ビニル被覆あり又はなし） | 呼び101以下（長さ300以上）<br>端部に耐火シートを1周以上巻き付け（床上側施工）<br>貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け |
| | 波付硬質ポリエチレン管 | FEP100以下<br>FEP50以下　：貫通部に耐火シートを1周以上巻き付け<br>FEP100以下：貫通部に耐火シートを2周以上巻き付け |
| 施工方法 | | 1　支持金具（Z金具、C金具）を設置し、貫通物の形状に合わせて加工した支持板を置く。<br>2　貫通物に耐火シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックを充てんする位置に巻き付ける。<br>3　貫通物、耐火シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。<br>4　小さな隙間には補助充てん材を充てんし、施工完了。 |